

2025（令和7）年度
特定非営利活動法人アートNPOリンク 事業計画書

特定非営利活動法人アートNPOリンク

1. 事業活動方針

任意団体であったアートNPOリンクが2003年10月に開催した第1回全国アートNPOフォーラム in 神戸から20年が過ぎた（法人化は06年）。当時議論された活動資金や人材の不足といったアートNPOに関する課題は、未だ解決されておらず山積している。それ以上に、今年1月の能登半島地震の復旧・復興においても非営利セクターの力自体が十分に発揮できていない現状もある。こうした中、各地でたゆまぬ活動を続けるアートNPOの存在は貴重である。民間の中間支援組織であるアートNPOリンクは、各地のアートNPOをエンパワーメントし、本質的な実働を積み重ね、今後の活動の核となる若い仲間の顔触れとともに、根本的な存在理由を再確認するべく、地に足の着いた対話を丁寧に積み上げていく。

今年度は、ネットワークの新陳代謝を図ることに重点を置いたうえで、「アートNPOの基盤整備、社会的ポジションの確立、政策提言を行い、アートNPOの活性化に寄与することを目的とする」というミッションを再確認しながら、アートと社会の関係の「草の根」を地道に広げていく。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア. 芸術・文化およびそれに関連するフォーラム事業

本年度内の全国アートNPOフォーラム開催を目標に調整する。前回の神戸での開催をふまえ、その成果を2011年の東日本大震災の被災地の一つとなった仙台地域の関係者と連携を深め、社会とアートとの関係を問い直す機会とするよう企画を行う。

このほか、昨年度に引き続き「毎月第1木曜日朝7時半のミーティング」として、理事及び会員を対象に、任意参加でカジュアルな月1回の定例ミーティングを実施する（原則として、毎月第1木曜日の朝7時半から8時半）。各自の活動に関する情報交換や、アートNPOリンクの事業内容や進め方のブレインストーミング、各事業の進捗状況を共有する。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン／従事者人員：3人／受益対象者：120人／支出見込額：100,000円

イ. 芸術・文化およびそれに関連する国際交流事業

今年度は、実施しない。

ウ. 芸術・文化およびそれに関連するワークショップ事業

アートの現場の実態把握を行うため、各地のアートNPO等が行っているアンケート調査において、SNSを通じた調査の設計や集計分析に関する指導や助言、地域間の比較などを行い、各地のアート系の中間支援活動の支援や人材の育成、エンパワーメント、政策提言などにつなげる。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン等／従事者人員：1人／受益対象者：120人／支出見込額：60,000円

エ. 芸術・文化およびそれに関連する情報収集・発信・調査研究事業

芸術家や文化団体の状況把握と、それに基づいた地域文化政策の動向を指し示すことが必要であるとの認識のもと、継続的に活動を行うアートNPOのエンパワーメントのために必要な情報の収集、発信、調査を行う。とくに芸術文化を創造してきた地域の創造拠点を対象に、アンケート、関係者へのヒアリング、事業の結果・成果・波及効果などを明らかにしていく。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン等／従事者人員：1人／受益対象者：120人／支出見込額：400,000円

オ. 芸術・文化およびそれに関連するコーディネート事業

アートの力を広く社会にアピールしていく活動やアートNPOの基盤整備、社会的ポジションの確立、政策提言などを念頭に、厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」連携事務局を前年度から引き続き担う。アートNPOリンクの人的ネットワークを活用し、アートマネジメントや文化政策に関する専門家との連携調整や各種事業の企画コーディネート等を行う。

日時：2025年4月1日から2026年3月31日まで／場所：オンライン、アートNPOリンク事務所等／従事者人員：2人／受益対象者：150人／支出見込額：19,450,000円

カ. 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第4章の規定による労働保険事業組合としての業務

今年度は、実施しない。

キ. その他、目的を達成するために必要な事業

今年度は、実施しない。

(2)その他事業

なし。